

報道された広大

三月

- # 広島大が博物館計画 標本一〇〇万点、楔形文字や貴重コケ類市民にも公開 97年度予算で要望（中国、3・23）
- # 三七八五人卒立つ、広島大で卒業式、学長「志を高く持て」（中国、朝日、3・27）
- # ひととき広島・上海の交流促進願う—広島大留学生 金致偉さん 黄宝根さん（中国外、3・29）
- # 広島大など2次募集（中国、3・29）
- # インターネットの可能性探る 広島シンポに市民500人—広島大総合情報処理センター相原玲二ネットワークシステム研究開発室長（中国、3・29）

四月

- # 広島大でボヤ、研究室から出火 パソコンなど焼く（中国、読売、4・2）
- # 芸備録＝声と歌唱について—広島大学長原田康夫（山陽、4・5）
- # 広大で入学式 四三〇〇人が参加（中国、朝日、読売、4・10）
- # 広大原医研など共同調査 旧ソ連セミパラ核実験所 今も100～400倍の放射能—高田純広島大助教授（中国、4・12）
- # 文化＝バーチャル世界のモラル インターネットの拡大により「ガイド」制定の動き—広島大学文学部助教授 越智貢（中国、4・12）
- # 芸備録＝男の声、女の声—広島大学長 原田康夫（山陽、4・12）
- # マイカー通学新入生は禁止 広島大駐車場が満杯 増設困難 新たな規制検討（中国、4・14）
- # 海底観測で地球内部探る 広島大など研究者100人参加、マントル上昇説解明へ穴を掘り地震計設置 西太平洋の7カ所（中国、4・13）
- # 広島大への交通機関整備望む（中国、4・17）

- # 私費留学の奨学生本年度50人決める 熊平獎学会 広島大は36人の留学生（中国、4・17）
- # 文化＝市はレストハウス保存を「被爆」語り継ぐ場に—広島大文学部助教授 河瀬正利（中国、4・17）
- # アジア理解へマレー語授業 安芸府中高の国際科で開始—広島大留学生ウン・グアツ・ディンさん講師に（中国、4・18）
- # 芸備録＝声変わり—広島大学長 原田康夫（山陽、4・19）
- # 西条駅前の街づくり—広島大につながる幹線道路ブルバールの沿道に商業施設を、西条駅前地区まちづくり推進協議会が報告書（中国、4・20）
- # チエルノ最汚染地域での残渣放射能調査、放射線260倍傷跡深く 広大原医研調査に同行—広島大学原爆放射能医学研究所 高田純助教授・遠藤勝助手（中国、4・22）
- # 「松枯れと大気汚染」解明へ広島大など共同研究、5年計画大規模実験も—佐久川弘・広島大総合科学部助教授、広島大総合科学部 中根歩教授（中国、4・21）
- # 「救援活動手助けも」広大生の橋村さん キエフへ出発—広島大教育学部日本語教育学科 橋村ますみさん（毎日、4・20）
- # 質疑もその場で双方向TV講義 東広島↔広島、広大法学部（中国、4・23）
- # 雄山閣考古学特別賞 河瀬広大助教授の「たら：」に決定—河瀬正利・広島大文学部助教授（中国、4・23）
- # 「ひがしひろしまぐる—ぶガイド」学園都市づくり交流会議が発行—広島大の文化系・体育会系サークルなどを紹介（毎日、4・23）
- # 県や広島市、広島大などが設立した放射線被曝者医療国際協力推進協議会（HICARE）は海外研修医を定期化、国際機関通じ受け入れを行うことを決めた（読売、4・24）
- # 衆院選などテーマ 来月から公開講座—広島大法学部（中国、4・26）
- # 芸備録＝体型と声—広島大学長 原田康夫（山陽、4・26）

五月

- # 広大と将来の学生街直結 キヤンバスモール建設着々、東広島店舗進出へ期待（中国、5・2）
- # 国体秋季大会 学生パワー運営の原動力 積極的に参加地域とも密着—教育学部日本語教育学科 浜本幸子さん・柴原香保里さん 国体ボランティア（中国、5・3）
- # 弾む笑顔で世界と友達 FFF2日目ゲームや踊り広がる輪トロッコレースに広島大原爆放射能医学研究所チーム（中国、5・5）
- # 生涯学習市民の意識は 趣味講座に高いニーズ、広島市教委アンケート—広島大教育学部社会教育研究会会長 佐々木正治教授（中国、5・9）
- # 芸備録＝ベルカントと共に—広島大学長 原田康夫（山陽、5・10）
- # 地域共同研究センター広島大に完成 研究成果を地域発展に（産経、5・10）
- # 64歳ただ今広大4年生 定年で夢実現燃える向学心—広島大経済学部第二部四年生谷本賢二（中国外5・10）
- # 留学生支援金贈る 東広島の広大生ら（中国、読売、5・14）
- # 無農薬野菜数・瓶リサイクルは：「東広島お買い物MAP」広大生が調査—広島大文化サークル「アゴラ企画室」（毎日、5・15）
- # 広大で恐喝被害相次ぐ、東広島昨夏以来6件外部の犯行か 夜間重点に警備強化（中国、5・16）

広大生協ベストセラー・トップ・アン

①公務員試験受験ジャーナル5号	実務教育出版
②理系のためのサバイバル英語入門	小林康夫 東京大学出版社
③知のモラル	講談社ブルーバックス
④受験ジャーナル特別企画『直前対策』	実務教育出版
⑤歴史新聞	歴史新聞編纂委員会 日本文芸社
⑥ゴーマニズム宣言9	小林よしのり 双葉社
⑦ソフィーの世界	ヨーステン・ゴルデル
⑧エアリアマップ「東広島」	昭文社
⑨受験ジャーナル特別企画「学習スタートブック」	実務教育出版
⑩「超」勉強法	講談社
野口悠紀雄	日本放送出版協会

- ★ 投稿規定
 - 一、文字数は二千字以内とします（図、写真は、一枚を二百字と換算）。原稿は、原則としてMS-DOSのテキストファイルのフロッピーディスクに記入し、ハンドコピーと図表を別途添付してください。
 - 二、本文には、四百字程度で小見出しをつけください。
 - 三、原稿は原則として掲載します。ただし、特定の個人及び団体を誹謗する中傷する原稿または本誌の目的や性格に照らして不適当と思われる原稿は、掲載しません。
 - 四、採否は広報委員会で決定します。
 - 五、提出された原稿は、掲載の有無にかかわらず、返却いたしません。
- ★ 次号は七月一日に発行予定です。

広報委員会
からの
お知らせ

あなたも 表紙にチャレンジ してみませんか

千万言を費やしても、太陽・月・星のことは語り尽くせないだろう。人と無縁であり得ないこれら三者への接近、これが今期の表紙のチャレンジです。しかし、必ずしも準備万端ではないのです。現時点、アイデアのみが先行し、映像資料等のストックはほとんどないというのが実状です。

フォーラム読者の絶大なる支援を期待しております。是非とも応募をお願いします。

若元広報委員（表紙担当）

広大フォーラム第28期1号

編集発行 広島大学広報委員会
(庶務部企画調査課)
住所 広島市中区東千田町1丁目1番89号
電話 (082)241-1221 内線3539
FAX (082)242-1561
E-mail koho@ipc.hiroshima-u.ac.jp
印刷 別ニシキプリント
広報委員 安藤正昭(委員長・総合科学部)
成定 薫(副委員長
大学院国際協力研究科)
越智 貢(文学部)
森 敏昭(教育学部)
若元澄男(学校教育学部)
岡本友子(法学院)
長尾伸一(経済学部)
竹野節夫(理学部)
田中義人(医学部)
栗原英見(歯学部)
松尾 彰(工学部)
岡本敏一(生物生産学部)
渡邊敦光(原爆放射能医学研究所)
吉田二美恵(附属図書館)
西田 正(総合科学部)
中田 高(文学部)
加登基二(総合情報処理センター)
佐伯育郎(附属中・高等学校)

投稿宛先
庶務部企画調査課広報調査係
内線 三五三九
FAX (082)241-1561
E-mail address:
koho@ipc.hiroshima-u.ac.jp

1000字の世界 ヒッセイステム 募集

広大フォーラムでは肩の凝らないエッセイの書き手を募集しています。

資格は広島大学の学生、教官、職員なら誰でも大歓迎です。長さは毎号2000字、連載も可能です。イラスト、写真を入れることもできます。筆に自信のある方、書きたいことが溜まっている方、いつでも編集事務局(庶務部企画調査課)までご連絡ください。

お願ひ

原稿は、できるだけMS-DOSのテキストファイルのフロッピーでディスクに記入し、ハードコピーを添付してください。

第二十八期広報委員会による「広大フォーラム」第一号をお届けします。今号では「キャンバス内の交通問題」の座談会を企画しました。「無法地帯化したキャンバス内交通問題を何度も取り上げて欲しい」というモニターからの切実な要望がきっかけでした。

二十八期広報委員会は二十七期広報委員会の編集方針をほぼそのまま踏襲し、シリーズものそのまま残しています。ただ今期は、全学の「広場」としての役割をさらに発展させ、構成員の本音が出てくるようなら、ざつくばらんな広報誌にしたいものだと考えています。特に学生の本音を聞き出したいと思っていますので、学生の積極的な投稿をお待ちしています。もちろん教職員の投稿も大歓迎です。

二十七期の越智委員長に比べて、今期の広報委員長は頼りないので、全学の皆様の力を借りなければとうていやっていけません。皆様の積極的な参画を期待しています。(文章はできるだけ電子媒体でお願いいたします。)

(第28期広報委員会委員長 安藤正昭)

編集後記